

2024年日本平和大会実行委員会ニュースno.4



発行:2024年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2024/10/04
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

総選挙で大軍拡、「戦争国家づくり」に審判を その到達点をふまえ大会を成功させよう

2024年日本平和大会実行委員会は3日、オンラインで第5回実行委員会を開催しました。五十嵐全労

第5回実行委員会開催

連常任幹事の司会のもと、東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつを行い、千坂日本平和委事務局長が、報告と提案を行いました。

今回の実行委員会は、総選挙の日程が10月15日公示、27日投開票となる可能性が高まったもと、企画準備状況と今後の課題、当日の運営体制を確認し、学習パンフとプレ企画も活用して総選挙で大軍拡、「戦争国家づくり」に審判を下し、その到達点をふまえた大会として成功させようと話し合いました。



大軍拡・「戦争国家づくり」を引き継ぐ石破内閣に、総選挙で審判を下しましょう

東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ

第5回実行委員会にご参加いただき、ありがとうございます。

前回、9月5日の実行委員会の時は、自民党総裁選の行方や総選挙の時期については決まっていなかったわけですが、石破新内閣ができ、総選挙が今月15日公示、27日投票もほぼ決まった中、大会は総選挙後に開かれることになりそうです。自公過半数割れをめざしてたたかうわけですが、そう簡単ではなく、石破政権のもとでの大会となる可能性が高いと思います。

石破氏は総裁選の中で、実施すると言った予算委員会開かないなど、言行不一致が大問題となっていますが、裏金問題の解明を封印し、山積する課題についての新政権の政策が国民に知られる前に総選挙で議席をかすめ取ろうとするものであり、許されません。

石破新首相の所信表明は明日行われますので、細かいことはわかりませんが、岸田政権の大軍拡・「戦争国家づくり」を引き継いで、さらに加速させる方向が見えてきています。

石破氏はもともと、改憲、日米同盟強化の論者であり、自民党が野党時代の2012年7月に自らとりまとめた「国家安全保障基本法案」の概要に、フルスペック=無制限の集団的自衛権行使を明記しており、石破氏はまた、北大西洋条約機構(NATO)をモデルにした「アジア版NATO」を総裁選でも強調しています。NATOは「加盟国一国への攻撃を全体への攻撃とみなす」完全な攻守同盟であり、石破氏はアメリカの核シェア(共有)や核持ち込みの検討も提起しています。

憲法論で石破氏は、自民党が今年9月にまとめた9条2項(戦力不保持)を残したまま自衛隊を明記するという論点整理に対して、9条2項を削除し「国防軍」を創設することを主張しています。

また、防衛大臣に安保法制強行時の中谷防衛相を据え、政調会長らに小野寺元防衛相、外相に岩屋元防衛相を起用していることを見れば、軍拡推進は明らかです。

国会での論戦も行なわず、裏金問題の真相解明にふたをしたまま、大軍拡と「戦争国家づくり」を進

